

前年度評価シート 様式第M-2号

施設名	日野市立たまだいら児童館ふれっしゅ			
指定管理者名	社会福祉法人雲柱社			
指定期間	2020年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日	評価年度	5年目評価	
主管課	子ども部 子育て課 評価者名(梅田)			
評価項目	評価基準	自己評価	主管課評価	
I 実施体制の評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか。	A	A
	人員体制	届け出された正規職員の業務責任者が常駐し、指揮命令が的確に行われていたか。	A	A
		仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか。	A	A
		要員の就業時間記録があり確認できるか。	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか。	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか。	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	—	
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか。	—	
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか。	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか。	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか。	A	A
	地域等との連携	地域、関係機関、自治会等との連携は図れたか。	A	A
	日常の安全確保	利用者の安全確保に関するマニュアルを整備し、社員に徹底しているか。	A	A
	日常の衛生管理	利用者の衛生確保に関するマニュアルを整備し、社員に徹底しているか。	A	A
		危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか。	A	A
	危機管理	避難経路は適切に確保されているか。	A	A
		事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか。	A	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する規程が整備されているか。	A	A
		管理記録、個人情報利用状況について定期的に市に報告している。	A	A
		個人情報等を目的外利用をしていないか。	A	A
		個人情報の取り扱いについて社員研修を実施しているか。	A	A
	環境配慮	省エネルギー、省資源等について市が推進する環境への配慮がなされているか。	A	A
	情報公開	情報公開に関する規程が整備されているか。	A	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理しているか。	A	A
	書類の提出	必要な書類、報告書等が期限までに提出されているか。	A	A
その他				
【総括 I】	実施体制の履行状況に関する評価(項目) うち S(), A(), B(), C()		A	
指定管理者自己評価	協定書に従い適切な管理運営を行った。定期的な情報共有を行い、地域とは顔の見える関係となっている。市や各関係機関とも良好な関係を築けている。・			
市(主管課)の評価	協定書に従い事業を履行できており、地域に根差した運営ができています。			

評価項目	評価基準	自己評価	主管課評価	
II サービスの内容や水準の評価	利用者対応	施設の予約や利用が公平かつ適切に実施されているか。	A	A
		言葉使い、態度、服装等の接遇はマニュアルが整備され適切であるか。	A	A
	誰でも利用できる配慮	高齢者・障害者などに対する案内、サービスの工夫がなされたか。	A	A
		点字・音声、ファックスによる案内等、様々な障害をもつ人への合理的配慮がされているか。	A	A
	利用案内	ホームページは見やすく、適宜更新されているか。	A	A
		利用方法を分かりやすく案内できているか。	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか。	A	A
		利用促進に向け、PR活動などに積極的に取り組んでいるか。	A	A
	事業の実施	事業計画書に則り、指定業務を実施しているか。	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか。	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか。	A	A
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか。	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応し、その記録があるか。	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか。	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか。	A	A
	維持管理	施設、設備の保守管理(点検・修繕)、定期清掃を計画的に実施しているか。	A	A
		日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。	A	A
		備品台帳や貸出簿により記録が適切に保管されているか。	A	A
		市と指定管理者の備品が明確に区別されているか。	A	A
		必要な小規模修繕を適切に行い、市に報告しているか。	A	A
	その他			
	【総括 II】	サービス等の内容や水準に関する評価(項目) うち S(), A(), B(), C()		A
	指定管理者自己評価	地域の一施設として、誰に対しても丁寧な受け入れを行い、誰もが利用できるよう配慮した。また子どもたちをはじめとする利用者の意見も事業に反映した。		
	市(主管課)の評価	誰でも気軽に利用できるよう丁寧な受け入れ及び配慮ができています。アンケートや目安箱を設置し、利用者の意見を取り入れた事業展開をしている。		

評価項目		評価基準	自己評価	主管課評価		
Ⅲ 収 支 等 の 評 価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか。	A	A		
		専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか。	A	A		
		料金徴収、減免、還付の手続は適切に処理していたか。	A	A		
	予算執行	収支計画書に則り、適正に予算を執行しているか。	A	A		
		収支計画と実施計画の整合は取れていたか。	A	A		
	経費節減	経費節減に向けた取組を積極的に実施し、その効果が上がったか。	A	A		
	その他					
	【総括 Ⅲ】	収支等に関する評価（ 項目）うち S（ ）、A（ ）、B（ ）、C（ ）		A		
指定管理者自己評価		適正、適切に処理を行っている。・				
市(主管課)の評価		収支等について、本部事務局においても管理監督され、適正な管理ができている。				
評価項目		評価指標／目標は達成されたか。	目標値	実績値	自己評価	主管課評価
Ⅳ 目 標 管 理 の 評 価	目標①	中・高校生世代の居場所となるよう、土曜、日曜日に中学生タイムを設定する。	毎月2回の実施	2回以上実施	S	S
	目標②					
	目標③					
	【総括 Ⅳ】	目標管理に関する評価（ 項目）うち S（ ）、A（ ）、B（ ）、C（ ）				S
	指定管理者自己評価	目標値以上実施。土曜、日曜には中学生が多く来館し、世代を超えた交流がある。そして回を重ねることで多くの相談事業に繋がった。				
市(主管課)の評価		中学生対応館として中学生や高校生世代の利用者の居場所となる事業を行っている。また、目標値以上の回数を実施している。				
V	【総合評価】	Ⅰ～Ⅳの総括による総合評価 Ⅰ（ ）、Ⅱ（ ）、Ⅲ（ ）、Ⅳ（ ）				A
Ⅵ 特 記 事 項	特に評価される点 市(主管課記載)	利用者からの声を拾い、実現可能な要望、意見は迅速に対応している。日常の丁寧な関わりから、子どもたちが職員と気軽に話せ、多くの相談事業につながっており、その後の児童館利用にもつながっている。 また、ファーストバースデイ事業受付数は市内児童館で最も多く、市の事業運営にも貢献している。				
	改善が望まれる点 市(主管課記載)	改善が望まれる点は特に見当たらない。 引き続き、地域と連携し、子どもたちの居場所となるよう施設運営をお願いしたい。				